

Tachyon

[タキオン]



なかにし礼氏によって作詩された公立小松大学校歌のタイトルは「光より速きわれら」。ときに光速をも超える思念やインスピレーションが本学学生・職員の spirit から発せられるよう念願し、本誌のタイトルとして選んだのが「タキオン」(Tachyon)である。Tachyon は、未だ確認されていない粒子であるが、光より速い速度をもつとされ、ギリシャ語の「ταχύς (速い)」を語源とする。

学長 山本 博

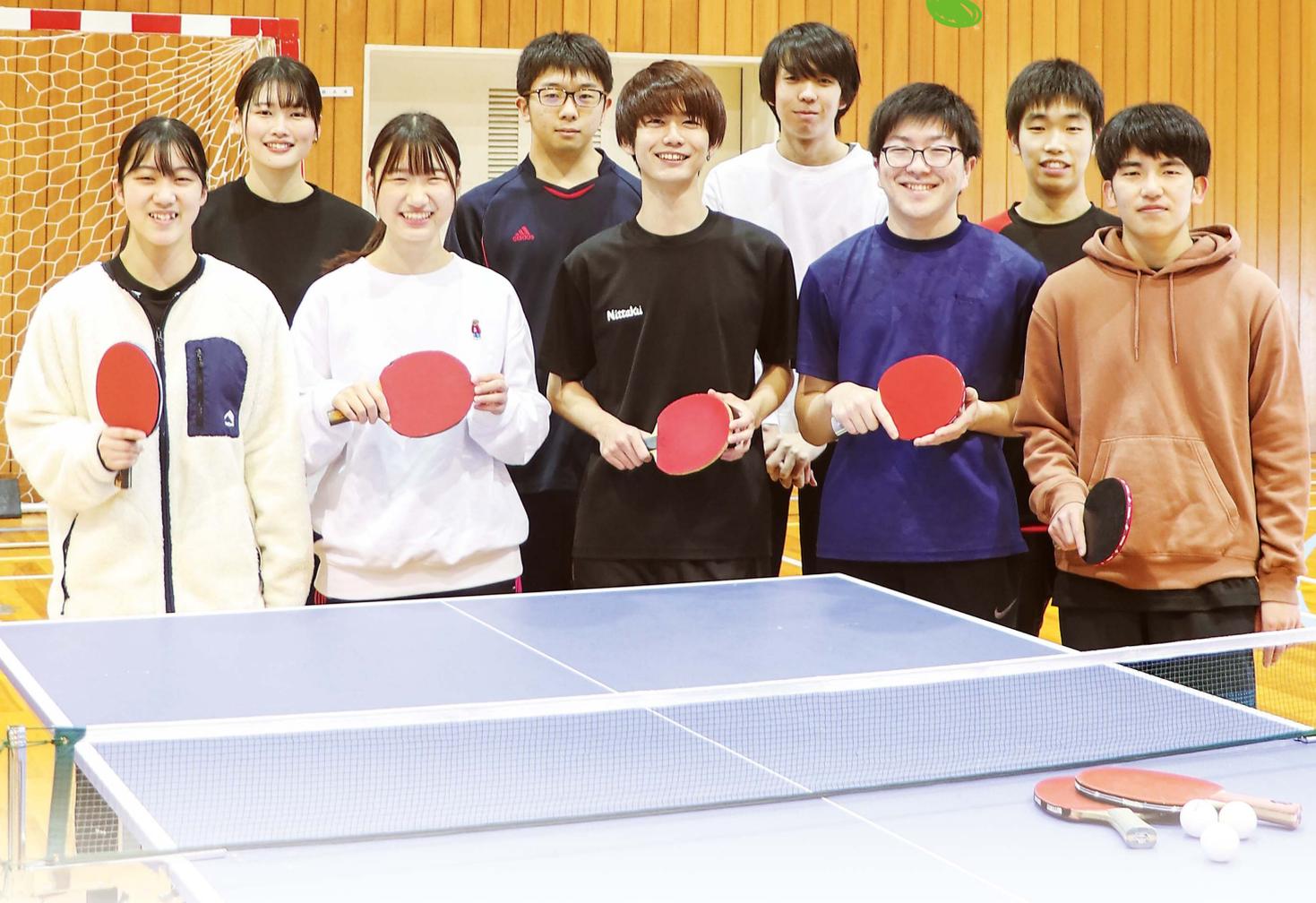
(図出典：Institut for teoretisk Fysik)

We Enjoy
Campus Life

卓球サークル

毎週土曜日、粟津キャンパス体育館で活動中。
和気あいあいと卓球を楽しんでいます。

※大学HPでは、広報室学生委員によるサークル突撃取材の記事を公開しています。



01 第3回大学祭「青松祭」

03 大学TOPICS

05 教員紹介 杓谷 茂樹 国際文化交流学科教授

06 ぶらりキャンパス案内 (キャリアサポートセンター)

07 追悼 なかにし礼先生

vol.6
2021.03

動画担当

進行など、配信当日は緊張もしましたが、楽しさが上っていました。おすすめ動画は、粟津キャンパス紹介の中で行ったサーモグラフィを使った実験です。今回、大学祭が対面できない寂しさもありましたが、オンラインならではの気づきもありました。見逃し配信を皆さんにもぜひ楽しんでもらいたいです。



佐合 凛太郎さん(生産2年)



大学祭を終えて
～実行委員インタビュー～

実行委員長

キャンパスや小松市紹介など、夏休みにはほぼ毎日撮影をしていました。撮り直しも多く大変でしたが、ゆのくにの森での金箔体験など、思い出深いです。

以前の学祭は、家族連れのご来場など、地域の皆さんとのふれあいを感じました。2021年はぜひ対面の学祭ができる状況になってほしいです。



白木 嵐樹さん(生産2年)

モザイクアート担当

前期はずっとオンライン授業で家にいたので、大学生らしいことがしたい、学内にもっと知り合いが欲しいと思い、実行委員に応募しました。担当したモザイクアートは写真を集めるのに苦労しましたが、先生方のご協力もあり、感謝しています。大学祭を通して、他学部の学生とも仲良くなることができました。



原田 みず季さん(生産1年)

青松フリマの売上金の一部(7,272円)は、新型コロナウイルス感染症対策に携わる医療従事者への支援として、小松市に寄附しました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

青松フリマ(フリーマーケット)担当

青松フリマは、出品物の募集から、販売のためのウェブページの作成、購入希望者への連絡、振込の確認など、何もかもゼロからの構築でした。予想より売上があり、支援金として一部を市に寄附できてうれしかったです。イベントの運営は初めてでしたが、とてもよい経験になりました。



戸田 すみれさん(国際1年)

見逃し配信中!

第3回青松祭、令和2年度市民公開フォーラムは、いずれも下記YouTubeで視聴できます。

チャンネル
公立小松大学青松祭



チャンネル
公立小松大学公式



市民公開フォーラム Society5.0時代の医療

9月12日(土)オンライン・中央キャンパス



医療関係者など約150人が参加しました。

講演では、IoTやロボット、人工知能、ビッグデータといった新たな技術の進展に伴う医療環境の変化や、医療制度の維持に向けた課題などについて解説がありました。講演に引き続き実施した対談では、新型コロナウイルスによる社会の変化、新時代の医療のあり方と可能性についても語られました。

※ Society5.0…仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。内閣府「第5期科学技術基本計画」では、日本が目指すべき未来社会の姿として、提唱されている。

デジタルハリウッド大学大学院客員教授で、2018年に著書「医療4.0」が大きな話題を呼んだ加藤浩晃先生と、千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター特任教授の吉村健佑先生を講師に迎え、学生や地域の医

第3回

せいしよ 青松祭

今年は
オンライン

2020年10月17日(土) YouTube配信

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域のイベントや行事などが相次いで延期・中止となった2020年。大学祭「青松祭」は、オンライン配信という新たな形式で開催しました。一部をご紹介します。

キャンパス紹介



中央、粟津、末広の3キャンパスを紹介。粟津キャンパスでは、体育館の紹介とあわせて行ったサーモグラフィを使った実験で、大量の汗を流す結果に。

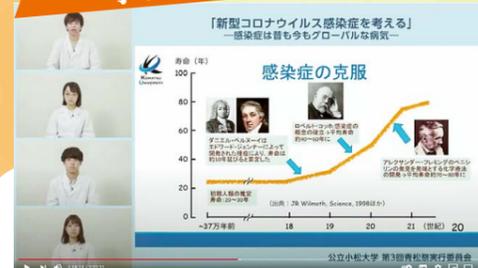
サークル紹介



第1部、第3部で合計6サークル(バスケ、茶道、DJ、ボランティア、卓球、軽音)を紹介。それぞれ、演出にこだわりと工夫が光ります。

第1部

学術講演



感染症の起源や克服の歴史を解説。新型コロナウイルスの今後について、自分たちができることを考えます。

第2部

公立小松漫才



実行委員会の引っ張り役となった白木さんと佐合さんによる渾身のオリジナル漫才。大学愛が伝わります。

各企画結果発表



SNSで募集した「後ろ姿コンテスト」や「キーワードクイズ」の結果発表。「後ろ姿コンテスト」グランプリは、「着物女子」に決定!

第3部

小松市紹介



小松の見どころとして、小松空港や航空プラザ、勸進帳の舞台である安宅の関、ゆのくにの森の4か所を学生ならではの視点で紹介。



医療従事者への感謝を含め、笑顔の写真を集めたモザイクアート(企画:実行委員会 イラスト:美術工芸サークル)

2021年2月～12月

スケジュール

2月16日(火)～4月7日(水)

春季休業

4月1日(木)

健康診断

4月2日(金)

入学宣誓式

4月5日(月)・6日(火)

新入生オリエンテーション

4月7日(水)

健康診断(1年生対象)

4月8日(木)

前期授業開始

※履修登録は4月21日(水)まで

7月10日(土)

オープンキャンパス

7月30日(金)～8月12日(木)

前期試験(補講・試験予備日含む)

8月13日(金)～9月30日(木)

夏季休業

10月1日(金)

後期授業開始

※履修登録は10月14日(木)まで

10月23日(土)・24日(日)

大学祭「青松祭」

12月27日(月)～1月6日(木)

冬季休業

学生の家族からの相談も可

学生相談

臨床心理士(公認心理師)が相談に応じます。相談内容は守秘します。

【日時】
毎週月・火・水・金曜日
いずれも13時30分～17時30分

【申し込み】
各キャンパスの保健管理センターへ直接または電話、メールで予約してください。
Email health@komatsu-u.ac.jp
(本文に氏名、学籍番号、相談内容をお書きください)

おめでとう！ 輝く小松大生

10月10日(土)
第38回中国語
スピーチコンテスト長野県大会
(主催：長野県日中友好協会ラジオ孔子学堂)

【スピーチ部門】優勝
溝邊幹太さん(国際文化交流学科3年)



12月12日(土)
第6回江蘇杯中国語スピーチコンテスト
(共催：愛知大学、南京大学、江蘇国際文化交流センター)

【中上級班スピーチ部門】
・特等賞および
中華人民共和国駐名古屋総領事賞
高橋優大さん(国際文化交流学科3年)
・一等賞
大森帆乃香さん(同3年)



★専門領域からコロナを分析 シーズ・ニーズマッチングシンポジウム

11/28(土)

本学では開学以来毎年、本学のもつ研究シーズ(種)を発信し、地域や企業が抱えるニーズ(技術課題など)とのマッチングを図り、課題の解決や共同研究などにつなげる機会として、「シーズ・ニーズマッチングシンポジウム」を開催しています。

今回は、4学科合同で「新型コロナウイルス～これからの世界と地域」をテーマに、オンラインで開催し、約100人が視聴しました。研究発表のほか、本学の新型コロナウイルスへの取り組み、地域連携の実績などの報告も行いました。

<シーズ発表>

- ①看護学科 内田美保教授「新型コロナウイルスと感染防止」
- ②臨床工学科 深澤伸慈教授「COVID-19と呼吸管理」
- ③生産システム科学科 川端信義教授「ウイルスの流体力学」
- ④国際文化交流学科 千葉悠志准教授「新型コロナウイルスと世界情勢—中東・イスラーム世界の視点から」

地域の困りごとや技術課題などは、専用フォームからお気軽にお寄せください。



★総務省「異能vation」プログラム ネットワーク拠点に選ばれました

11/25(水)

平成26年から総務省が実施している、ICT分野において地球規模の価値創造を生み出す奇想天外でアンビシャスな技術課題への挑戦を支援する「異能vationプログラム」。多種多様な個性が活躍する場づくりを進める全国のネットワーク拠点に本学が選ばれました。引き続き、シリコンバレーと地域、大学とをつなぐプロジェクトなどを実施していきます。

★大学間交流協定の締結

8/25(火)～31(月)

大学間交流協定

8月25日(火) ハサヌディン大学(インドネシア)

部局間交流協定(国際文化交流学部)

8月31日(月) ナレスワン大学社会科学部(タイ)

上記により、海外交流協定は、大学間協定が9件、部局間交流協定が5件、その他機関が1件となりました。また協定締結を記念し、11月24日(火)、国際文化交流学科がナレスワン大学と1日交流会をオンラインで実施しました。両校の教員がタイと日本の政治に関する講義を英語で行い、続いて、「アジアの民主主義と学生の政治参加」をテーマに、学生によるプレゼンテーションと意見交換を実施しました。本学からは、国際文化交流学科3年生が、日本の若年層の政治意識と政治行動、社会の多様性と寛容さ(特にLGBTに対する若者の意識)について、英語で発表しました。

★広報室学生委員企画 市内バスツアー開催

11/23(月・祝)

新型コロナウイルス感染症の影響で、例年大学として参加している市内の祭りやイベントの中止が相次ぎ、学生が小松の歴史文化に触れる機会が少なくなったことを受け、「1年生が小松を知るきっかけを作りたい」と、広報室学生委員4人が企画しました(協力：小松市役所観光文化課)。

広報室学生委員が、手作りのしおりやフォトマラソンなどのメニューを用意し、1年生をアテンド。「こまつ曳山交流館みよさ」で歌舞伎メイクと口上体験をし、その後、「道の駅こまつ木場湯」で地元食材を使ったランチを楽しみました。午後は、「日用昔の里」、「那谷寺」、「安宅住吉神社」をめぐり、小松の秋を満喫しました。



公立小松大学 TOPICS

2020年8月～2021年1月

★世界を知る、可能性を広げる シリコンバレーセミナー

8/29(土)ほか

大学と地域、シリコンバレーをつなぎ、コミュニケーション力を高めながら、イノベーションを生み出す力、シリコンバレーのビジネスの仕組みなどを学ぶオンラインセミナーを開催しました。毎回、地域の社会人や他大学の学生など、さまざまな職種や年代の人が参加し、ディスカッションなどを通して、相互理解やモチベーションのアップにつなげました。

- ① 8/29 「シリコンバレーから学ぶ『挑戦するマインド』」
講師：榎本 博之さん(本学客員教授)
- ② 9/20 「シリコンバレーで何故グローバル企業が生まれるのか～シリコンバレーの起業家の考え方」
講師：石川洋人さん(Takeoff Point 執行役社長)
- ③ 10/24 「シリコンバレーエンジニアの考え方ー日本とアメリカで働くことの違い」
講師：酒井潤さん(Splunk ソフトウェアエンジニア)
- ④ 12/19 「『話す』『知り合う』『つながる』ための小松に住む人たちのワークショップ」
講師：榎本博之さん



★保護者会役員

11/30(月)

保護者会総会(書面開催)により、以下役員の選出が承認されました。※は新任、それ以外は再任(敬称略)

会長 阿戸健一郎
副会長 大御千枝子、北村啓、木本武志、近藤洋司、徳山直樹*、向出広幸*
監事 尾上恵美、大貝英利
顧問 山本博(学長)、横川善正(副学長)、木村繁男(副学長)、千葉正(事務局長)



しゃく や しげ き
 杓谷 茂樹 教授
 (国際文化交流学科)

Shigeki Shakuya

高度に観光化される
 マヤ文明を見つめて

メキシコのユカタン半島にカンクンという有名なリゾート地がありますが、そこから車で3時間ほどのところに世界遺産のチチェン・イツァというマヤ遺跡があります。世界中から年間200万人もの観光客がこの遺跡公園を訪れますが、一般的な観光客は、アカデミックに理解されているマヤ文明のあり様というより、自分が期待しているマヤ文明イメージを求めて来ます。そこには「謎の古代文明」

イメージや、宇宙人、スピリチュアルな宇宙のパワーというものに対する視線も交差しています。観光は一大産業のため、遺跡公園の側も、そうした観光客の期待に添うような展示、紹介の仕方がなされていたりもします。そのような、*マストゥーリズム状況下にあるマヤ文明の遺跡公園で何が起きているかを研究しています。



チチェン・イツァの代表的な建造物である「エル・カステージョ」は羽毛のへビ神ククルカンを祀るピラミッド

もう15年以上不法侵入の状態です。土産物などを売っています。私は、定期的に遺跡公園の調査を行い、行政や観光業者、地域住民などさまざまな関係者が絡み合っている中で、露店商の不法侵入が長期化したプロセスを説明してきました。新型コロナウイルス感染症拡大により、遺跡公園もしばらく閉鎖されていたので、どのような影響が出ているかとても気になっていますが、今は現地に行けないのが本当に残念です。

大学ではスペイン語学科で学び、卒業後は通信機メーカーに就職し、海外営業の仕事をしていました。たまたま書店で手に取った『マヤ興亡』(八杉佳穂著)に感激し、30歳の時、一念発起して大学院に進学しました。最初は考古学の研究でしたが、画像学、そして神話学へとテーマが広がりました。メキシコ留学をきっかけに観光学に行き着きました。歴史は浅いものの、観光人類学には多様な視点が求められる面白さがあります。講義やこまつ市民大学で「世界遺産検定」受験をすすめています。歴史文化だけでなく、政治経済や環境、平和問題など、あらゆる問題を総合的に学んでいくことになりました。意欲的に受検する学生が多いのはうれしいですね。

学生へのエール

人生において、ぜひ「縁」を大切にしたいと思っています。縁は向こうからやって来ます。私の場合は、人だったり本だったり、あるいは今小松にいることもそうかもしれません。一時の好き嫌いや目標にあまりにこ

私のイチオシ
 the best.

カンクンのビーチはとにかく素晴らしい！大げさではなく、空より青い海、雲より白い砂が広がり、時にはイブアナにも出会えます。



だわりすぎると、そうした縁を見逃してしまいがちになります。縁を大切にすることで、結果的に自分にとって楽しい人生が送れるように思います。

*マストゥーリズム：第2次世界大戦後の経済発展を背景に、それまで富裕層に限られていた観光旅行が、幅広く大衆にまで拡大した現象を指す。そこでは観光対象すべてが観光客の視線で語られる。

ぶらりキャンパス案内

〜キャリアサポートセンター編〜

キャリアサポートセンターは、中央キャンパスと栗津キャンパスにあり、専門のキャリアカウンセラーが常駐しています。就職に



関する個別相談のほか、各種セミナーや対策講座の実施、就活イベントやインターンシップ情報の提供などを行っています。また、各学科に就職担当教員を配置し、個別面談を実施するなど、全学的なサポート体制を構築しています。

本学では、学生と企業が、学校経由で直接つながるオンラインサービス「キャリアタスUC」を導入しています。本学の学生向けの求人情報を集約し、学生が閲覧できるシステムです。同時に、学生の就職希望や就職活動状況などの情報集約と分析を図り、個々の指導や対応につなげます。

オンラインでも対面でも
 キャリア相談 実施中

進路選択や就職活動の進め方に関する相談のほか、履歴書やエントリーシートの添削、面接練習などに随時応じています。1・2年生の利用も大歓迎です！

【相談時間】
 月～金曜日(平日) 9時～17時
 【相談予約】
 キャリタスUCから
 【問い合わせ】
 E-mail: carrier@komatsu-u.ac.jp

人事・採用ご担当の方へ
 求人・インターンシップ情報は、
 キャリタスUCで
 ご登録ください。



キャリアコンサルタント
 松木 礼子



◆ 学年進行に応じたキャリアサポートを実施しています

1・2年次 働くとは何か、幅広く柔軟に将来を考える

職業観の醸成に向けた「キャリアデザインセミナー」や、各種ガイダンス(インターンシップ、公務員など)を開催しています。また、企業見学会や産業展示会などの視察を通して、さまざまな職種や業界に触れ、将来のビジョンを膨らませていきます。



キャリアデザインセミナー

3年次 インターンシップが鍵！就職活動いよいよスタート！！

キックオフガイダンスを皮切りに、自己分析や企業研究、履歴書・面接・筆記試験対策など、本格的・実践的なセミナーやガイダンスを定期的に開催し、学生を支援しています。本学はまだ卒業生がいないため、就職活動について、学生が具体的なイメージを持てるようサポートします。公務員講座や勉強会も開催しています。



就職活動丸ごと体験実践型
 セミナー(模擬面接の様子)

4年次 大切なのは、最後まであきらめないこと

新型コロナウイルス感染症は、企業の採用スケジュール等にもさまざまな影響を及ぼしています。迷いや不安は、まずは教員やセンターに相談してください。最後まであきらめずに、納得できる進路と一緒に見つけていきましょう。



進路や就職で
 悩むのは当たり前。
 まずは気軽にキャリアサポート
 センターをのぞいてみて
 ください。

キャリアコンサルタント
 飛田 敦子

◆ 3年次には、社会での実践的な学びにも取り組んでいます

生産システム科学科「学外技術体験実習」

主に石川県内の企業で1～2週間実施する実習です。大学で学んだ知識や技術がどのように生かされているかを体験します。派遣先：コマツ、Jバス、小松村田製作所など

国際文化交流学科「インターンシップ」

南加賀地域の企業や行政等で、約5日間、実際の業務に携わります。課題を設定し、解決策の検討、発表なども行います。派遣先：小松市役所、ゆのくにの森、大京など



小松市役所でのインターンシップ

公立小松大学校歌 光より速きわれら

なかにし 礼 作詩
千住 明 作曲

見よ 白山の頂を
若き 飛躍の舞台なり
学びの時を 愉しく修め
いざ羽ばたかん 自由の翼
世界は広し ならばなお
翔びゆけわれら！ 光より速く！
公立小松 小松大学

海 永遠の時を打つ
若き 希望も無限なり
果てなき空に ゆるがぬ意志で
描け七色の 調和の虹を
理想は遠し ならばなお
挑めよわれら！ 光より速く！
公立小松 小松大学

この命こそ 奇跡なり
汝 自身を 知りつくせ
高みに上り 高みを越えて
いざ身に浴びん 叡智の景色
真理は深し ならばなお
極めよわれら！ 光より速く！
公立小松 小松大学

追悼 なかにし礼先生

学長 山本 博



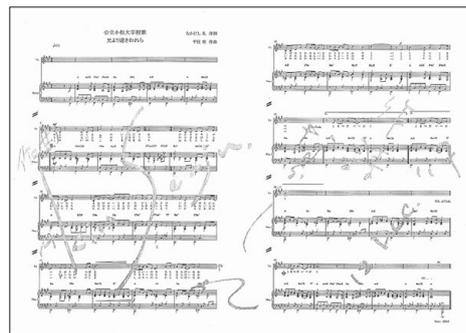
本学開学式で新生に語りかけるなかにし先生

2020年12月23日、なかにし礼先生が逝去されました。本学の在るかぎり永遠に歌い継がれる、素晴らしい大学校歌を作詞いただき、本学と学生の皆さんの船出を温かく見守って下さいました先生に、心よりの感謝と哀悼の真を捧げます。

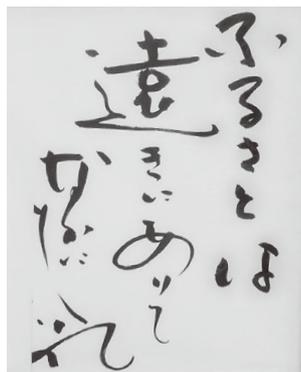
願いますと、在りし日の音容とともに、いくつかの光景が目に迫ります。

なかにし先生から大学校歌の原稿が送られてきましたのは、開学準備を進めていた2017年10月のことでした。タイトルは「光より速きわれら」。感想を求められましたので、まず電話では、「光速者」の作家増谷雄高のさらに上に行く境地ですね、と応え、翌日手紙で、校歌中唯一の固有名詞として1題目冒頭に現れる「白山」はこの地にまなぶものの志の象徴となるでしょう、2題目「海 永遠の」はランボーの詩を想起させますね、3題目「この命こそ」はこの校歌を歌う誰しもの胸に浸むでしょう、などとイメージばずいぶん生意気な印象を書き送ったことでした。

大学校歌のお披露目は、2018年4月2日の開学式兼I期生入学宣誓式で行われました。前日リハーサルの折の、なかにし礼・千住明両先生の的確なご指導は忘れぬものです。小松市立高校合唱部の演奏を聞き、それぞれコメントされました。なかにし先生は、「日本語の発音を明瞭に」と「1題目より2題目、2題目より3題目がより大きく聞こえるように」、千住先生はステージ上のピアノと合唱団員の位置についての指示と、なかにし先生のコメントに関係して、各題最初の2音、すなわち「見よ」、「海」、「この」を順次少しずつ大きく発声する要領で、とのアドバイスでした。すると、つづく2回目の演奏で両先生から「合格」が出、翌日の本番はさらにいい出来栄となりました。



作詩者なかにし先生と作曲者千住先生の署名入りの大学校歌楽譜（公立小松大学所蔵）



なかにし礼先生奉納色紙
(小松市符津白山神社所蔵)

なかにし先生は、校歌が「詩」であることをたびたび強調されました。フランス文学を修められた先生ですから、自らを詩人と認識しておられたにちがいません。2020年1月の『サンデー毎日』に掲載された「愛こそ魂の 奇跡的行為だ」が、拝読した最後の作品となりました。翌2月、小松市で行ったある講演をこの詩でしめくりました。すると、それを知った先生がことのほかよろこばれたと聞き、ちよっぴりご恩返しのできたかなと感じたことです。

左は、なかにし先生の父祖の地、小松市符津町にある符津白山神社に先生が奉納された色紙です。この「ふるさと」は、白山を望む当地とも、先生が少年時代をすごされた中国とも解釈されますが、観る人によっては別のふるさとが想われるかもしれません。なかにし先生の詩人の魂は、いまや、ふるさとを含むこの星の上を自由に旅していることでしょう。ときに、光より速く。

合掌